

第2回青梅市協働事業市民推進委員会会議概要

令和8年8月21日

403会議室

午後2時～

欠席：小花委員・相馬委員

1 あいさつ

委員長

2 報告事項

- (1) 令和8年度青梅市市民提案協働事業（団体支援型）の採択結果等について（資料1）

相談件数 3件

申請件数 1件

採択件数 1件

（事務局）5月末までの応募期間に事前相談があったものは3件、そのうち、正式に申請、令和8年7月3日の庁内の市民協働事業推進会議での審査を経て採択の決定となったものが、資料1の「リバーライフセービングクラブ青梅」の「川のライフセービング体験」を通して親子で学ぶ“セルフレスキュー”事業です。

その他事前相談があった2件のうち、協働事業としては見込めないものの、市の指定管理者の独自事業との連携につなげたものが1件、担当課との調整に時間を要して、今後追加審査となる予定のものが1件です。

（委員長）この委員会の委員の所属の団体は応募しなかったのか。

（委員）対象になる団体には声をかけたのだが。

（委員）来年度は応募したいと考えている。

- (2) 令和8年度青梅市市民提案協働事業（協働実践型）の応募状況について

相談件数 3件

（事務局）今年度募集し、来年度から実施する協働実践型のうめコースで、7月1日から8月31日までを応募期間としております。

現時点で、事前相談は3件いただいております、本申請に向けて調整中であります。

(委員長) こちらのコースも、この委員会の委員の所属の団体は応募しなかったのか。

(委員) 小曾木地区の活力が下がりつつある。学校をなんとかするために地域を元気にしようというのが活動の原動力なので。小曾木の学校がなくなってしまうのではという不安が活力に大いに影響している。

(委員) 今のところない。小学校の案件でかなり手一杯になっている。協働事業の他に実践的に林業をやる人を育てるという方向にシフトした。林業家を増やすという方向性となった。

(部長) 森林経営管理制度というのができた。管理していけない森林については個人ではなく市町村が管理していこうという、そこに森林環境譲与税を使っていきたいとの考えである。

(委員) 「小学校区ごとにあそびばをつくる」というのをやっている。大きな助成金を得てやっている。金額的に協働事業だと小さい。こども食堂は市の助成金を得てやっている。時期的なものと規模的なものを相まって今年の申請は見合わせた。

(3) 市民等との協働事業（令和7年度実施）について （資料2）

市民提案協働事業5件を含む83件

事務局より資料2について説明

(委員長) 新緑祭は、指示系統が分かりにくくなっていて関係者に評判がよくない。評価はどうかと思ったら事業はやはり団体が1をつけている。

(委員) 課題があり、それを解決しようという気持ちがうまく話し合いなどにつながらないと1を付けることになるのでは。課題が無くてそれなりにできていると1は付けないのではないか。

(委員) 委員会としてここは気になるねというところをフィードバックすることになるのか。振り返りに1がついているところいくつかあるが、57.58ページのように真ん中あたりに3とかあるようなところの方が気になる。認識の違いがあるところについては、事務局で調べてもらおうと緊張感があって良いと思う。協働の効果は双方出しているが、事業の効果はどう捉えているかわからない。目的とした課題解決にどれくらい進んだかというのが大事である。

(委員) イベント系は参加者数は載せてもらいたい。

(委員長) 双方の評価にかい離がある事業については、確認していただく

と、マンネリ化しているような事業については、見られているんだと思
い活性化につながると思う。

3 協議事項

- (1) 令和 8 年度青梅市市民提案協働事業（協働実践型）の審査員の選出
について

審査会実施日 令和 8 年 1 0 月 7 日（水） 午後 1 時 3 0 分～

（同日、令和 7 年度市民提案協働事業の事業報告会を実施）

審査員 委員会から 4 名 庁内市民協働推進会議から 3 名 計 7 名

（協議結果）確定：森本委員長

仮確定：若林委員、林委員、大瀬委員

（欠席委員にも打診したのち確定する）

- (2) その他

特になし

4 その他

- (1) その他

（事務局）第 3 回会議の日程は、1 2 月上旬を予定していますが、メー
ルにて日程調整させていただきます。

以 上